

にしだ 昭二 県政通信



2014
秋号

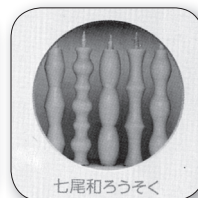
北陸新幹線金沢開業に伴う能登の二次交通について【平成 26 年 9 月議会にて】

《質問趣旨》 のと鉄道と JR 両方の観光列車を乗り継ぐツアーやのと鉄道区間への JR の観光列車の乗り入れなど活用方法の工夫が必要だと思うがどうか。

《知事答弁》 二次交通について先般、JR 西日本から七尾線に観光列車を導入するという表明を戴いた。この列車は、「和と美」をコンセプトに来年 10 月運行が開始される。また、七尾線は二つの観光列車が楽しめる非常に魅力的な路線。相乗効果を最大限に発揮させていくことが大切である。JR 観光列車はディーゼル列車であるため、例えばイベント列車など臨時列車として、穴水まで運行することも有効な活用策だと考えており、今後 JR 西日本に対し働きかけていきたいと考えている。



七尾仏壇



七尾和ろうそく



七尾仏壇

新幹線金沢駅待合室（石川県提供）



車内イメージ（石川県提供）

国道 249 号藤橋バイパスについて【平成 26 年 9 月議会にて】

《質問要旨》 七尾氷見道路が完成し、東海北陸自動車道と直結すれば藤橋バイパスを利用し能登へ訪れる方が増えると思うが藤橋バイパスの役割と供用開始時期について聞く。



藤橋バイパス
石川県資料より

《知事答弁》 全線無料化したのと里山海道や能越自動車道と一体となって広域交流の拡大を図るとともに緊急輸送道路として地域住民の安全・安心の確保に欠かせない重要幹線道路である。七尾国分町から小島町間の 1.7 km の整備を精力的に進めてきた結果、来春予定していた供用開始時期を 3 ヶ月前倒して年内には完成できる目処がついた。藤橋バイパスの全線開通により能登地域の救急医療の要である公立能登総合病院へのアクセスの向上、能越自動車道七尾氷見道路と田鶴浜道路、のと里山海道を結ぶアクセス向上により能登地域全体の発展に大きく寄与するものだと考えている。

農村の活性化に向けた圃場整備の推進について【平成 26 年 9 月議会にて】

《質問要旨》 新たな圃場整備の要望がある中、平成 27 年度予算の確保に向け、県はどのように取り組んでいくのか。また、県道・市道の拡幅改良などの連携についてはどうか。

《堀畑農林水産部長答弁》 国の農業農村整備予算は平成 22 年度当初予算ベースで大幅に削減されたが、県では、国の経済対策予算などを積極的に活用して取り組んできた。先般、国の平成 27 年度概算要求額が発表されたところである。農業農村整備事業予算は、12.5%で、その内、圃場整備事業関係予算は、14.6%と高い伸び率である。圃場整備は、農業の生産性を高め、農業者の所得向上や後継者の育成、確保を図るうえで核となる大変重要な事業である。実施中の地区に加え、地域の合意形成が整い、事業化段階にきている新規地区についても必要な予算額を確保していきたい。次に、県道市道の拡幅改良などの連携については、圃場整備事業を実施する区域内に道路や河川がある場合は、一体的に用地を捻出することは可能である。地域の利便性を念頭に置きながら必要に応じ、道路管理者と協議し、道路網等の整備との連携にも取り組んでまいりたい。

H26.9.18 北國新聞

- ◎ 能登の観光振興について【平成 26 年 9 月議会】
- ◎ いしかわ百万石物語・江戸本店のオープンについて
- ◎ グリーンニューディール事業について
- ◎ 災害復旧に備えた国土交通省や市町の連携について
- ◎ 七尾地区の製氷施設対策について

H26.9.18 北國新聞

先輩の姿に力？

○…西田氏は質問に入る前、代表質問で金沢、白山両市長選に出馬する同期にエールを送った山田省悟氏に触れ、「感銘を受けた。会派に同期がない私にはうらやましい」と一言。この日は県議会で30回目

記者席

の登壇で、傍聴席には地元の前会長らの姿も。「いばらの道を歩む先輩方の後ろ姿を見て責任の重さを実感している」と決意を新たにした後、交通対策や観光振興など、初回から心がけているという能登の登壇で、傍聴席には地元の前会長らの姿も。「いばらの道を歩む先輩方の後ろ姿を見て責任の重さを実感している」と決意を新たにした後、交通対策や観光振興など、初回から心がけているという能

新聞記事 あれこれ

藤橋バイパス供用いつ

西田昭二氏 (自民)

〈国道249号〉藤橋バイパスの供用開始時期を聞く。

谷本知事 七尾市国分町から小島町までの2期工事区間1・7キロを3カ月前倒しして完成させ、バイパスが年内に供用できるめどがついた。地域の緊急輸送道路としても重要になる。

堀畑農林水産部長 6月に故障した県漁協矢田新支所の製氷機は修理し、来年2月には稼働できる見通しになっている。

「まれ」推進協議会 県の積極的な支援が必要だ。

谷本知事 大きな発信力を持つ番組で能登、石川県を全国にアピールする絶好の機会。能登が一体となって取り組む協議会の活動をしっかり支援する。

知事 前倒しで年内工事完了

アンテナショップ

商品業者20社内定

十月八日に東京・銀座で移転開業する県のアンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」について、田中新太郎商工労働部長は、取扱商品の事業者選定にあたり、現時点で二百社余りが内定していることを明らかにした。

オープン時の商品選定にあたり、県内の三百七十七社から応募があった。商品構成や地域バランスを考慮した上で、運営事業者との間で仕入れ値や納品数量などを協議しているという。

ただ、商品はオープン時で固定せず、来訪者の評価やニーズを踏まえた上で、適時入れ替えなども行う方針。田中部長は「継続的、効果的に魅力を発信していけるよう運営事業者とも連携を図り、工夫を凝らしたい」と述べた。

県ではオープンに向け、最寄り駅の銀座一丁目駅を通る地下鉄全車両で中づり広告を掲載するほか、都内で十八万部発行される女性会社員向けのフリーペーパーでもPR。運営事業者のシタックス大新東ヒューマンサービス(東京都渋谷区)もグループ会社を通じ首都圏を中心としたレストランでのPR、七百五十万人の携帯会員にメール配信するという。

H26.9.18 北陸中日新聞